

平成 28 年 4 月 22 日

## 助成事業実施報告書

団体名 たちかわ・財政を考える会  
代表者・役職名 氏名 会長・加藤 良重

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

市民の手による立川市の財政白書づくり

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

たちかわ市民交流大学の市民企画講座として、平成 25 年 3 月から 10 回の財政講座を実施し、立川市を中心とした地方財政と財政白書づくりについて学習を行いました。その講座に参加したメンバー 20 名(現在 23 名)が中心になって、平成 26 年 4 月に「たちかわ・財政を考える会」を設立しました。また、平成 26 年 11 月に「立川市社会教育関係団体」に登録・承認されています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

夕張市の財政破綻後、財政健全化への取り組みが強化され、市民が自分たちのまちの財政を学び・市民による財政白書づくりが広がっています。この市民財政白書は、多摩地区で誕生し、現在では多摩地区で 14 市町、全国で 27 県市町村で作られています。立川市近隣市町でも、昭島市・国立市・小平市・小金井市・府中市などで作成されています。立川市でも、私たち市民が地方財政を学び、立川市の財政状況を知り、立川市の財政白書を作成する事により、一般の市民の方に立川市の財政に関心をもって頂くと共に、この立川市を更に魅力あるまちにして行きたいと思っています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

私たち市民による「たちかわ市民財政白書」を作成し、12月1日に発行、7日に「完成発表会」を実施しました。作成までの活動状況を以下に示します。

- ①多くの市民に読んで頂くために、経年変化・他市との比較・市民1人当たりの比較などをベースに、中学生でも分かる内容を目指しました。
- ②立川市財政課の出前講座を4回実施し、立川市の財政状況について学習・把握しました。
- ③毎月1回学習定例会を実施し、議論・学習・情報共有を行ないました。
- ④立川市および関連市の平成16～25年度の決算状況について、決算カードをもとに、5回の集中作業を実施し、数値編を作成しました。
- ⑤各自が作成した原稿について共同編集会議を9回実施し、検討・意識合わせ・読合わせレビューを実施しました。
- ⑥印刷製本費は1冊当たり854円の所、助成金を頂いたことを考慮し500円/冊で頒布しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

1. 各イベントなどの開催状況

①完成報告会 (H27. 12. 7)

・一般参加者数：50名 ・会員参加者数：17名 ・計：67名

②立川市民企画講座「我がまち立川市の財政を考えよう!!」 (H28. 1. 30, 2. 13)

・一般参加者数：25名 ・会員参加者数：18名 ・計：43名

③「たちかわ市民財政白書」頒布状況 (H27 年度末現在)

・329冊 (他に無償頒布：51冊 [立川市図書館など])

・東京都外の市会議員などから、ネットで4冊申し込みがありました。

2. 月刊誌などへの紹介状況

①月刊地方自治職員研修 (1月号)

②議員 NAVI (1/25UP)

③月刊ガバナンス (2月号)

④ビーコノーソリティ (2015年冬号)

⑤自治体の財政分析 (2/1発行)

⑥まちねっと [上砂町・一番町・西砂町] (20号)

⑦とうきょうの自治 (No. 100)

⑧オリオン書房にて販売中

3. まちづくりへの「橋渡し」に貢献

市民から見た問題点を、市民・議会が一体となって改善・改革していく為に、一人でも多くの市民の方々に身近な問題として考えて頂くような題材を提供する端緒になりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

①作成した「たちかわ市民財政白書」をテキストにして、「たちかわ・財政学習会」を月1回開催し、市民の財政への関心を広げて行きたい。(第1回を4/2開催：25名参加)

②多摩地区などの他市にも、色々と影響を与えています。「多摩住民自治研究所」から協力依頼があり、多摩地区などの各市が参加する「市民財政白書交流会」が、6月4日に立川市で開催される予定です。

③28年度に、追補版(追加資料・数値編)を作成し、更に一般市民・議員・行政職員への呼びかけ・普及を図って行きたいと思っています。

④更に、2~3年後を目途に、2弾目の「たちかわ市民財政白書」の発行を目指して行きたいと思っています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

# 「たちかわ市民財政白書」 を作成しました！！

～有償配布します。是非、手にとってみてください～

この度、市民の自主団体の「たちかわ・財政を考える会」では、市民の手による「市民からみた立川市の財政白書—知っておきたい税金の使われ方—」を作成しました。

この白書づくりでは、とくに専門的な知識をもたない一般市民が、講座や相互学習を重ねながら資料の収集・集計にあたり、原稿を分担して執筆し、その内容を検討しあいました。

今後、この白書をテキストにして足りないところを補いながら、さらに市民の参加の輪を広げて学習を深め、市民が誇りのもてるまちづくりの活動に結びつけていきたいと考えています。

## 市民からみた 立川市の財政

—知っておきたい税金の使われ方—



平成 27 年 12 月  
たちかわ・財政を考える会

### <白書の構成>

- 第 1 章 立川市はどんなまち
- 第 2 章 財政をよりよく理解するために
- 第 3 章 歳出の状況—政策実現の経費—
- 第 4 章 歳入の状況—財源の確保—
- 第 5 章 お金のやり繰り
- 第 6 章 財政運営の実績
- 第 7 章 市民が望む財政運営（提言）

【A4 版 79 頁 頒布料：500 円（+送料）】

[平成 27 年 立川市協働のまちづくり推進事業補助金助成事業・真如苑助成事業]

たちかわ・財政を考える会（メールアドレス: [tatikawa.zaisei@sirius.ocn.ne.jp](mailto:tatikawa.zaisei@sirius.ocn.ne.jp)）

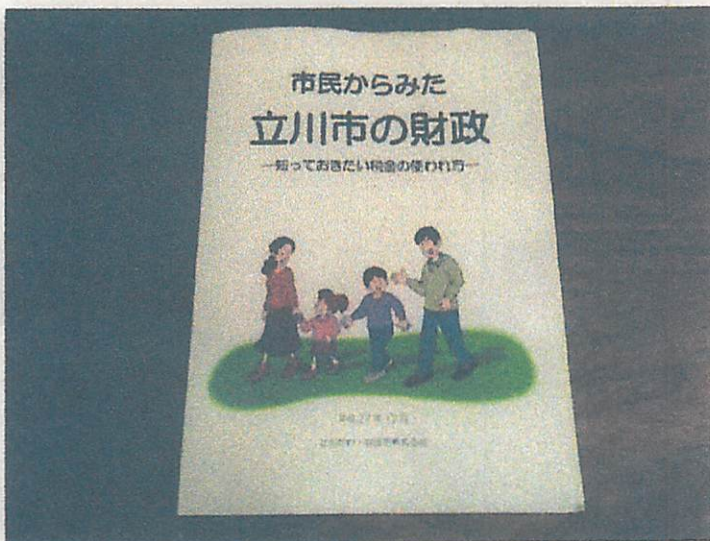
「たちかわ市民財政白書」を作成しました！完成報告会

[お知らせ] 投稿日時：2015/12/08(火) 10:30

「たちかわ・財政を考える会」が市民の手による  
「市民からみた立川市の財政白書」を作成。  
昨日、女性総合センター・アイムで報告会がありました。



会議室は満員御礼、関心の高さがうかがえます。



報告会では取り組みの経緯、白書の概要・特徴、今後の活動予定  
白書作成に参加した人たちの意見が紹介されました。

資料は第1章「立川はどんなまち」では歴史や目指すまちの姿が  
第2章「財政をよりよく理解するために」では財政の解説が書かれています。  
第3章「歳出の状況」、第4章「歳入の状況」、第5章「お金のやり繰り」  
第6章「財政運営の実績」終章「市民が望む財政運営（提言）」  
白書の結びが提言となっているのも特徴です。

この資料は500円で販売しています。  
ご興味のある方は以下のメールアドレスでお問い合わせください。  
[tatikawa.zaisei@sirius.ocn.ne.jp](mailto:tatikawa.zaisei@sirius.ocn.ne.jp) 担当：加藤

by JK

[ブログTOPへ戻る](#)

[多摩てばこネットTOPへ戻る](#)

Facebookをされている方は「多摩てばこネットFacebookページ」に「いいね！」し  
てください。

いいね！ 644